

57

第七 ロイテ 決戦

一 陸軍 ロイテ 決戦ニ至ル経緯

(1) 第十四方面軍ニ於テハ、ルズニ 決戦堅持セリ

敵ロイテニ未だ確實ニトナリタル際、第十五軍司令部ハ

当然ロイテ 決戦ニ移ルニト判断、方面軍ニ對シテ、

回強硬ニ意見具申セラレタルハ、軍司令部ノ面前ニ

於テ、軍長今謀長小生ニ明言セラレタル所ナリ

(2) 最高統帥部ニ於ケル情況ハ、余ノ今、周知スル所ナリ

ヤ、二十日十八日捷一ノ、戦急動、察令セラル、ニ及ビ

ロイテ 決戦明カトナル

(3) 右様ノ経緯アリタルニ、有カ、ルズニ、日ニ、事、中、セ、シ、アリ、シ、力

ノ、ロイテ 輸送、達、レ、有、ニ、爾、後、外、戦、ニ、於、テ、著、シ、ク、不

利、ヲ、根、キ、キ、ル、ニ、ア、ラ、ズ、ヤ、ト、愚、考、ナ、リ

二 敵ノ兵力集中ノ情況

(1) 敵艦優勢ヲ示シ航空兵力ヲ有シ敵ガ中東地北東地
區最前ノ奇襲奏効シ此數ニ對シ的優勢ノ地位
ヲ獲得セル為南後ノ制空權ハ今敵ノ一方的ニ
トナリタリ

(2) 我空軍ハ特攻隊ヲ以テ先ヅ敵輸送艦攻撃ニ全力ヲ
注シ其ノ為メ航空隊ノ寫真偵察ヨリモ四十隻ノ
至八十隻ノ戦果ヲ報告スルモノ有リ

(3) 然レ翌日ニ至レバ又敵輸送艦ノ數ハ増加シタリ 此數
ニ於テ航空隊ノ戦果報告ニ疑問視スルモノニ至リタリ

(4) 其後遠距離偵察ノ報告ヲ聞クニ敵ハ二百隻位ノ
艦隊ガ毎日入港シ其ノ距離ニ陸續ト列ビアリト
斯クテ一日ニ五十隻程及ノ戦果ヲ呈スルモノ有リ

増加一人途ヲ辿ルルト暴有リハ当然ナリ

(5) 尚前ノレイテ未攻前ノセグレ花ノ静隊止シ敵塔
来兵ノ告白ヨビ敵ハ概不テ月毎ニ呼出以付ク其入
アリト雲霧高送艦隊力ハ我ニ十数倍ナルニ花ヲハ第ニ
第三ノレキレントシフサラトガ出現スル敵ハ怪シムニ
是ヲサレシナリ

(6) レイテ敗戦後ノ色濃クナリシ當時レイテヨリ帰還
シ軍兵多謀漢ヨビ敵ハ九ヶ師團ヲ揚陸セリト

三 我軍ノ兵力集申事情

少中自敵攻略部隊来攻直後、第ニ花ノ中派隊
下力カサレシ除シ、第ニ花ノ中派隊ヲ取敢ハ不
由邊大隊
必村大隊兵大隊等ヲレイテニ増派カリカサレシ力

第五師團

東方を専攻せしむる末に、般々由邊木隊、第四軍師隊、ハカリ
ガシヤ、越来、ハ中ノ方、南進、西村大隊、及天共

(1) 第三十五軍 小戦計、ハ第十六師團ヲ以テ敵ヲ約テ、
阻止シ、待ベク、而モ同師團ハ、タケノ口、ハシ、西方地区ニ據リ、敵
ヲ南方を以テハ、ハシ、計、至セシ、ア、ハ、高カリ、ガラ、ハ、海、方、面、ヨリ、

(2) 上ノカ、ハ、東、南、進、セ、レ、ル、敵、ヲ、南、方、ニ、圧、迫、ス、ル、計、ハ、
十、月、廿、九、日、敵、末、攻、ム、ヤ、ハ、第三十五軍、ハ、取、敢、ス、レ、イ、テ、
進、キ、マ、ス、バ、ハ、方、面、ヨリ、廿、九、日、敵、部、ヲ、以、テ、進、出、セ、ル、ハ、
土、師、隊、由、邊、大、隊、西、村、大、隊、天、共、大、隊、ヲ、進、出、セ、ル、ハ、
第、四、軍、師、隊、ハ、カ、リ、ガ、ラ、ヲ、越、エ、テ、ハ、方、面、ニ、東、南、進、天、共、及、西、村
大、隊、ハ、先、ニ、田、カ、リ、ガ、ラ、ニ、上、陸、セ、リ、ト、稱、ス、一、部、ノ、敵、ヲ、驅、逐、シ、テ、

東進、田、邊、大、隊、ハ、廿、九、日、高、マ、カ、ス、由、テ、近、所、附、近、ニ、在、リ、タ、リ、
(3) 次、デ、165、ハ、第三十師團、ノ、先、奔、隊、ヲ、カ、ガ、ヤ、ン、ヨ、リ、オ、ル、モ、ウ、

十月二十五日

二輸送隊あり(軍隊伴トシテ控置カシテ野原大隊ヲラン)

(4) 十月一日多ク第ニ次作戦ニヨリ第一師團及第三師團ノ

先遣支隊(今垣隊)ヲアホセウクニ抑込イテ第一師團ハ

ワリカラ方向ニ北上第今垣支隊ハ東北進ハシテ俯瞰

スルヲオシ山東掖鹿ニ進出セリ

(5) 第一師團ノ第三十五軍司令部ハ装甲散兵隊大砲等

ヲ進出ヲ許スセリアリシニ當隊ヲGKFニ進言セルニヨリ第一

次隊ヲ作戦部隊ノ輸送機一隻ヲ回シテ十月一日早朝

アホセウクニ進出スルノ際司令官ハ機中ニシテ機中ニシテ

(6) 第一師團ノ輸送機ニ回シテハ當隊ニシテGKFニ進言シテ

都合ノ外機機中ノヨリ十月月中旬ハロソホシニ上陸ス

(7) 第三師團主力ニ対シテハGKFニシテ大イハカ力キ16Sヨリ

外輸送機一隻ヲ得渡セシメテ其計ハハカガヤシク

輸送機ニシテ輸送

在岡出港マラタシ島の(マラタシ)ニ畫同遊泊シテ、オレ
 ヲクニ在岡突入ノマラタシアリ。 當派ニ於テハ極力其
 無謀トシテ國傳ノ向ニ進出シテ、遂ニ原計ニ照シテ
 也。レ、案ノ定マラタシ島沖ニ於テ空砲ヲ發シテ、輸送船
 側北側者甚大僅カニ兵者數ヲ指揮スルノ已ハナキ
 ニ至リ、 當派ハ其情報ヲ午後四時頃聞知シ直
 々ニ運難特駆艦數隻ヲ備大射ヲ同艦臨時指揮
 船トシテ、濃霧ニ在リ、今ハ、輸送船ハ其儘、オレマラ
 シ突入機務ニ預付人等ノ指揮スルニ、空砲發ノ初段ニド
 總兵艦ト運命ヲ共ニセリ、兵者長ノ奮戦又傳、
 其他ノ部派ハ、輸送船數隻ヲ、ヨリ、カカヤン、ヨリ、セ、
 ヲ、ハ、シ、ボ、シ、
 二月七日、野中大隊殘部、聯隊中隊及び、ニ大隊、
 上

月十日頃上陸セリ

(8) 上月八日多号、第四外戦 (P 15d dx6 dx4 Tx3) オルモツニ突入、

不詳且舟般ノ設置迄等々多クニ、其大部ヲ他ニ使
用事補且作戦部隊搭載ノ大穴ニ宣張設置ノ為使用
出来、
機帯共倉庫ヲ携行上陸セリ

(9) 上月十一日多号、第三外戦 (P 25d dx1 dx1 Tx5) 〃

全仰、火海上消没人員一部泳下ニテ有様ニテ、
其ノ状況ハ第三艦艇某国渡邊冬謀ノ自叙中、
謀長ノ年記ニ記載セルモノト合々一致シ、

一、後浪表沈ノ水程尋々之云ニ北絶情絶ナリト謂フ

第二十六師團主力ハ戦力ニ拘ハラズ第百五軍ヲ托ル今堀支

隊方面ニ使用ノ考ナリニモ第百四方面軍命令合ハヨリセリ改メ

今堀支隊ハ現任務履行トシ主力ヲ上月十三日頃ヨリア

ムラウ方面ニ轉位シ、アラウエシ方面ニ対テ前進ヲ止メ俾セシム

鬼怒直佐長ノ考決ニ移動ノ山根大尉ハ同様にオムラウ任務ニ送リ隊又

ニ移ル事決メテオムラウ方面ニ移動シ、便乗ノ海軍自衛隊中隊

本村大士五機銃防空隊一隊ヲオムラウ山根同中隊

ニ移ル事決メ

ハヨリ外敵部隊ニ使來

(11) 十月二十四日オムラウ方面ニ戦(勝)ハ、マスバテ島東山岸

盡同遊泊ニ計五ナリシヲ以テ當時ノ戦況ヲ電報機

梁ノ後波ヲ其不通ナルヲ再ニ其言セシニ採田セシル

計トナシテ同地ニ於テ潰滅人員同約ニ上陸

(12) 3月、第6次作戦成功(詳細ハ記憶ニ任ス)

(13) 3月、第7次作戦(SSX3 Chx2)ハ十一月三日、イピール(「オルモツク」附近)ニ敵軍ヲ撃退シ、敵ノ攻勢ヲ排除シ

テ成功シ、~~...~~ 敵ノ攻勢ヲ排除シ、敵ノ攻勢ヲ排除シ

水上部隊(Cヌハ大型D約三五隻魚雷艇数隻)ト交戦

系乗組員ノ被害ニ其ニ及リ、記号群ニテ敵ヲ沈没

第三隻ニシテ衝突ノ為突進中、隠密接近セル魚雷

艇ノ音聲ニ由リ沈没セリト

(注)本戦ニ由リ、電報機ノ故障アリ、記録ナシ

(14) 3月、第8次作戦(DX3 SBX1 TX4)十一月七日、オルモツクニ突入

SB及下ハ、樹立物塔ニ成功シ、敵ハ帰途ニシテ

本戦ハ既ニ敵上陸中ニ混淆シテ上陸シタル為、期組大

一期得マ復ケルハ伊東徳夫少佐ノ指揮ニ海軍陸戦隊水
陸両用戦車約五台進砲十数門兵力約五〇ハ戦況今多
不明十二日ニ至リ即チ今海軍陸戦隊ト連絡シ得タルヲ探察
スルヲ期待スルハ得ナシ

(15) 多摩第九次外戦部隊ハ十二日上下、^{カサガハ}カサガハ島北東方海
面ニテ空襲ヲ受ケテ企圖挫折。第六十八獨立混成旅團ハ
「サイレドロ」大砲ニ上陸、^{カサガハ}カサガハ方面ニ進出シ企圖
有階支隊ハ「パロポ」之亦人員ニ上陸「オルモ」^{カサガハ}カサガハ島
東進シ企圖アリ

(16) 高多号紅丸ノ初期ニ在リテ大型優速艇ヲ輸送ニ使用セラルルニモ、^{カサガハ}カサガハ島北東方海面ニテ空襲ヲ受ケテ企圖挫折。第六十八獨立混成旅團ハ「サイレドロ」大砲ニ上陸、^{カサガハ}カサガハ方面ニ進出シ企圖有階支隊ハ「パロポ」之亦人員ニ上陸「オルモ」^{カサガハ}カサガハ島東進シ企圖アリ

三ノ次空襲ノ敵機ノ跳梁ニ鑑ミ當先小型優速艇ヲ使用セラルルニモ、^{カサガハ}カサガハ島北東方海面ニテ空襲ヲ受ケテ企圖挫折。第六十八獨立混成旅團ハ「サイレドロ」大砲ニ上陸、^{カサガハ}カサガハ方面ニ進出シ企圖有階支隊ハ「パロポ」之亦人員ニ上陸「オルモ」^{カサガハ}カサガハ島東進シ企圖アリ

敵機ノ跳梁ニ鑑ミ當先小型優速艇ヲ使用セラルルニモ、^{カサガハ}カサガハ島北東方海面ニテ空襲ヲ受ケテ企圖挫折。第六十八獨立混成旅團ハ「サイレドロ」大砲ニ上陸、^{カサガハ}カサガハ方面ニ進出シ企圖有階支隊ハ「パロポ」之亦人員ニ上陸「オルモ」^{カサガハ}カサガハ島東進シ企圖アリ

世ヲ及ルニ甚カシキト大ニ之慨嘆ニ堪エズリシ也

海上

四我海軍の作戦(多手作戦ヲ除ク)

(1) 十月十七日付外捷一号作戦警戒 翌十八日同夜動ヲ下合セ

(2) 当隊ハ九月廿五日付先任多謀マニラ出張中GKF先任

多謀ヨリYBノカヤニヤシメ海峡通過ノ際ノ魚雷火点出

迄警戒ノ準備方ヲ付々指示セラレリタルニ其時在外我

由答ニヤシテハ承知シテ

十月二十日頃多三艇船國ノ渡込多謀ブルネイニ北トシ

作戦今後後飛来先任多謀ニ在外我ノ概要ヲ説明

シ當隊トシテハ始メテ承知セリ

(3) 然ルニカガヤシ方面ヨリ多艇船動ニヨリヨロイテニ此中ノ

多三艇船ヨリ漏レ聞ク敵艇既ニカガヤシ附近ニ出

没シタル疑アリ 斯クテハスリカオ海峡ニ対シ敵ノ

警戒厳重トシテ思ヒ(スリカオ海軍隊報告ニ同海

峽之敵魚雷艇之出没ハ其ノ情勢報アリシヤニ記憶

ス
ソノ旨ニ三回GIFニ其言

ヤリ
高ノスリガハ派遺隊ニ情報報ノ詳細報告方ヲ命セリ

(4) 十月三十一日 暹羅ガスロハ派遺隊ニ命ジツカンベルナルケル海峡

ノ中央ハ其ノ在リ同左ノ島ニ上空遊撃隊ノ燈ノ点出

魚雷艇ニ及リ以テ其ノ攻撃ヲ實施セシム

(5) 十月三十一日 日本隊敵艦KBBノ空襲ヲ受ケツハレブヤン海ヲ

東進(軍艦武蔵ヲマスビテ)島北西沖ニシテ沈没)夜間ツカンベ

ルナルケル海峡ヲ通過ス

(6) 十月三十一日 日本隊ガマルル島東方海面ニ在テ日本隊ハ突如敵艦

母群ニ遭遇交戦、砲撃戦ニ在テ敵艦母ニ命中弾数弾

ヲ與ヘガマルル島山上ヨリ望見セシ陸軍部隊ヲシテ拍手喝采

セシタルハ敵ハ小型艦艇ヲ以テ急進煙幕ヲシテ擴張遂ニ虎
口ヲ脱シタリ (終戦後陸軍報)

大々的ニ

(7) 同日別御隊ハ「ナリカオ」海峡ニ向ヒタルニ同海峡ニ在リテ敵
魚雷艇及「コイ」潜水艇北郊、東西線ニ投擲セル敵艇
戦隊ノ攻撃ヲ受テ且敵駆逐艇ノ海峡北口附近ニ擴張
セル大煙幕ヲ爲當方ノ攻撃隊ノシテ是レハ「山城」
素ハ大炎全艦火達、艦トナリ (山城飛行衣型別御隊
者) 最上又松浦ヲ受テ及松浦^中味方巡洋艦隊ト
衝突シテ別御隊ハ潰滅的打撃ヲ受テ作戦目的ヲ
達スルニ至ラズ (最上「コイ」ノ入港ニ係ルニナリシモ「コイ」ヲオ
侮シテ消息ヲ絶テ其後不明)

④ 船中隊ハ三千六百餘リヲサマルルニケリ海峡ヲ西航シ諸位を
 損傷極ニ絶々ニ之ヲ統制シ 概ハ二千八百餘ヲセリ以テ
 當隊ヲハ且燃炸筒等ヲ止ム

(9) 要スルニ天決斷ヲ以テ空海呼應シテロイシノ増援ヲ阻
 止シ敵上陸部隊ヲ孤立セシメテ一帯ニ靜ヲ減セシノ計ニ
 却テ逆ノ民果テ廣闊ラレシ此意ニシテイテ快戦ニ望ミ
 ナニ至リシ感深シ

五 當隊ノ特殊艦艇般ヲ以テ在外救支援

特殊艦艇般ノ戦ニシテハ別冊ニ記スヲ以テ此又ハ
 概々ノ概略ノ記述ニ止ム

(1) 十月下旬輸送艦二隻以下特殊潜航艦四隻(世川中尉)

水野、相木、松田各兵曹長)にセブ島着

(2) 十月下旬仰り以て、レイテ島の湾岸に我艦を後敵艦

ハ、スリガオ海峡通過、レイテ島の西岸に侵入して防艦を命

言り、カニカオ水道南口噴水、特殊潜航艦四隻ヲ撃破

ホニ隻力至四三隻ヲ以テ約三回攻撃シ、其性能上

行動半径之制約扼セラル中一日ノ噴水止リ、且見張能力

極小ニシテ小波浪ノ為重ク見張不可能、防艦ノ効果

甚小ナルヲ見ズ

(3) 十月下旬、艦隊司令部より、セブ島に於ける艦隊

司令部が、水道北口ニ敷設スルトナリ、水雷隊ヲシテ、

艦三隻ヲ以テ、敷設スル。敷設位置ハ、難油槽艦隊自若ク

(兵隊失念)ノ持志ニシテ協力ヨリ正確ニ期シ、持志ニシテ敷設指

北方の海軍の進出

揮止る無能なり敷設線ヲ三十度位トナシタルヲ以テ効果
ハ期待シ付得ズニ至ル(二回日ハ途中敵軍艦ノ攻撃ヲ受ケテ
富ヲ海中ニ放棄シ不返)

敵軍艦ノ為特殊潜水艇ハカニ水道ノ畔成リ上メ
爾後「クアト」諸島ヨリ「アルベ」沖ニ至ル常敵攻撃

柱中「アルベ」陸上偵察ヲ實施スリ 常敵攻撃
北へ敵ヲ見ザリシ陸上偵察ハ勇敵ニ陸上ヲ接近綿密

ニ偵察陸上攻撃ニ奇異シ付んケル大ナルモト認め
北側ノイテ「アルベ」ハ先偵考ラシモノ次中ニ北方ニ移動シ「アルベ」認め

(5) 当海軍指揮中ノ日在「セ」水上機ハ陸上機ト共ニ夜間カモテ
ス海ノ常敵攻撃ニ任ジ十一月七日頃「カモテ」島ノ東

ニ方海軍ニ在リ敵艦区艦ニ度々下ルル機ハ攻撃中
連射機ヲ付心寄ルニ至リ彈ヲ付タリ(撃込ル機未カ)

(6) 特殊艦艇ノ未敵攻撃偵察敵情ニ応じカオニ北方
 アムモック^{上旬}近傍迄伸ビシタリ 十二月^{上旬}曹柳環以
 岳^岳中尉級ハアムベラ^岳沖ニ於テ^岳北軍艦連隊^岳中^岳砲隊^岳
 中ノ大型駆逐艦一隻ヲ認メ攻撃^岳撃沈^岳初就果ナリ
 ナリ

(7) 露友近美^岳露^岳軍^岳参謀長ノ手記^岳三六頁ニツカカ^岳北^岳
 ハ俄海軍ノ封鎖ヨリ小艦艇ト号^岳進^岳入^岳シ^岳得^岳ヤ^岳モ^岳ト^岳確^岳信^岳
 ニアリタリト記載シ^岳ル^岳モ^岳露^岳海^岳軍^岳司令^岳官^岳ハ^岳陸^岳軍^岳特^岳殊^岳
 艦艇ノ飛来者^岳ニ^岳テ^岳ハ^岳モ^岳ト^岳當^岳隊^岳司令^岳官^岳ハ^岳特^岳殊^岳艦^岳
 艇^岳ニ^岳関^岳シ^岳テ^岳詳^岳細^岳ニ^岳考^岳ヘ^岳テ^岳交^岳換^岳セ^岳リ^岳シ^岳タ^岳リ^岳シ^岳タ^岳リ^岳
 先^岳方^岳承^岳知^岳シ^岳ル^岳モ^岳各^岳々^岳付^岳録^岳簿^岳ノ^岳海^岳軍^岳ニ^岳對^岳シ^岳テ^岳信^岳務^岳務^岳力^岳
 ン^岳為^岳務^岳年^岳ノ^岳進^岳信^岳務^岳務^岳力^岳ノ^岳ト^岳認^岳メ^岳ル^岳モ^岳當^岳隊^岳進^岳報^岳ニ^岳其^岳
 上^岳述^岳書^岳ノ^岳漢^岳起^岳ニ^岳テ^岳ハ^岳漢^岳度^岳ナリ

六 陸上戦闘の概略 (レイテ島の附近合戦図を参照)

(1) 緒戦期 北方戦線

(1) 第十六作戦司令部の敵軍攻勢部隊出現と我が軍の
戦闘司令部の指揮と移り海陸軍各部部隊共計五連の
戦闘配備を就く

(2) 敵の主力が、ドラゴン方面。一部が、クワロバン方面に揚陸
南方は、たゞ数日にて、カトミン島を孤立せしめ、ドラゴン
平原を掃蕩。北方は、たゞ八国に對して、バロ方面に
進出せしむ。クワロバンは、北道、南道、西道、東道、
各数門の設置を命ぜりし。高飛飛行機を、今迄より、増
(3) クワロバンに在りし海軍部隊は、我が軍の
新部隊にて、クワロバン山附近に合同司令部を
設置し、援護を命ぜりし。

(4) 〆多志ニ在リシ方三十三聯隊ハ十月二十日聯隊長以下玉碎
僅カニ大體が生存あり軍ヲテテ百餘ハ口東方面ヲ敵ヲ大隊ヲ阻止ス

(5) 百二師團ヨリ進出セシ米第四聯隊ハ十月二十八日決ツカリ
ガラレテ越エテハ口方面ニ東南進中三十日ハ口附近ヲ

米軍ト遭遇シ北軍四戰車一ニ压倒セシテ潰走ス十月
一日決ツカリガラ西南方山地ニ退却シ聯隊長ハ一隊大隊ヲ率

抱ルニ

(6) 天岳及西村大隊ハ口ガラレテ經テ東進中一二十八日決
米軍一ニ遭遇シ消息不明ナリ

(7) 田代大隊ハ二十九日マナガス附近ニ在リシガ口ガラレテ
進出セ出米が口西南方山地ニ米軍ヲ避ケアリ

(8) 隊第一百二師團ヲ謀金子少佐ハ口ガラレテ南方東方
山地ニ極力右派隊ノ攻撃ヲ率領陣地ヲ守ル

リガラレテ方面ニ進出中ノ米軍ヲ率領シテ也也也也
相成シテ敵ハ一顧カニセズ極力進出シ去レリト

(9) 十月一日、日、オム、ク、コ、上陸セル、第三十五軍、司令、部、ハ、同、多、
 北方山中、占位、先、~~在~~、~~清~~、~~道~~、セル、~~皇~~、~~軍~~、~~参~~、~~謀~~、~~ヲ~~、~~戰~~、~~闘~~、
 情況、ヲ、~~既~~、~~取~~、~~ル~~、~~ヲ~~、~~抑~~、~~止~~、~~シ~~、~~テ~~、~~是~~、~~ヲ~~、~~効~~、~~ヲ~~、~~ナ~~、~~シ~~、~~テ~~、
 外、~~長~~、~~指~~、~~導~~、~~ス~~、~~レ~~、~~バ~~、

(10) 同日、上陸セル、第三十五師團、先遣隊、~~ヲ~~、~~今~~、~~海~~、~~軍~~、~~隊~~、
 ハ、急、接、~~テ~~、~~引~~、~~キ~~、~~テ~~、~~東~~、~~御~~、~~出~~、~~ス~~、~~三~~、~~日~~、~~ヲ~~、~~テ~~、~~オ~~、~~ム~~、~~山~~、~~東~~、~~北~~、
 方、~~田~~、~~料~~、~~ノ~~、~~ハ~~、~~日~~、~~ヲ~~、~~備~~、~~シ~~、~~特~~、~~ニ~~、~~地~~、~~長~~、~~ニ~~、~~出~~、~~テ~~、~~カ~~、~~リ~~、~~カ~~、~~ラ~~、~~今~~、~~我~~、~~ニ~~、
 備、~~フ~~、~~且~~、~~出~~、~~途~~、~~上~~、~~見~~、~~テ~~、~~知~~、~~ル~~、~~派~~、~~遣~~、~~隊~~、~~ノ~~、~~限~~、~~并~~、~~主~~、~~計~~、~~中~~、~~討~~、~~以~~、~~下~~、
 約、~~十~~、~~數~~、~~九~~、~~ニ~~、~~合~~、~~合~~、~~シ~~、~~テ~~、~~収~~、~~容~~、~~ス~~、~~(~~、~~渡~~、~~辺~~、~~軍~~、~~参~~、~~謀~~、~~報~~、~~告~~、~~)~~、
 敵、~~ハ~~、~~既~~、~~ニ~~、~~ハ~~、~~口~~、~~出~~、~~近~~、~~ニ~~、~~存~~、~~シ~~、~~テ~~、~~畫~~、~~同~~、~~協~~、~~々~~、~~水~~、~~泳~~、~~ヲ~~、~~ナ~~、~~シ~~、~~テ~~、~~テ~~、
 我、~~ニ~~、~~有~~、~~力~~、~~ト~~、~~出~~、~~テ~~、~~テ~~、~~情~~、~~報~~、~~ス~~、~~ル~~、
 敵、~~ハ~~、~~三~~、~~日~~、~~以~~、~~テ~~、~~同~~、~~地~~、~~ニ~~、~~長~~、~~駐~~、~~龍~~、~~記~~、~~ヲ~~、~~控~~、~~エ~~、~~テ~~、~~オ~~、~~ム~~、~~コ~~、~~ト~~、~~市~~、~~街~~、
 砲、~~撃~~、~~ヲ~~、~~行~~、~~フ~~、

(11) 同日、日自上海を第一作園へ直上北上方り、カウカウ方面

ニ向ヒテ途中、空襲被撃隊、第一作園又預備大ナリ

其ノ先遣隊ニ捜索隊、ハマナカガシ、附近ニ上海ニ米

ニ米車ト運過、一夜ハ水陸ニテ程中、預備ヲ與ハシテ遂

ニ上海ヲ許スニ至ル

第一作園直上北ノ敵、攻撃ヲ加ヘ、直上又直上遂

ニ海岸附近ニ圧縮シテ、上海中ノ敵ヲ殲滅スルニ思ヒ

タルニ、戦車十数台ヲ併シ、敵有力部隊ヲナカガシ、海

近及、其西方ニ上海ニ至リ、及ビ遂ニ四ツニ組ニテ、戦況ニ上

ニ、我方ハ増援ナク、勢力カク減殺スル一方、及ビ敵ハ

海陸両方、初ニ遂次増援、或ハ物糧、強兵、空中機

下ヲ行ヒ、日ニ日ニ戦況不利ノ一途ヲ辿ルニ至ル

復

(12) 第百二師團ハ前記ノ外主力ハ十月中旬のハロシホニ上陸一

路第一師團ノ右側山地ニ進出シシモ軍司令部ノ電報

ニ見エモ部隊ノ掌握高ノ如クナラザルガ如クウロウロシ

積極外我ニ出テザリシガ如ク見受ケテナリ 悉ト共第一

師團ヲ翼掩護ノ目的ニ漸ク遠シ得ルガ如シ

(13) 十月二十五日上陸セル第百二師團先遣部隊ハアルモツク

進ニ於テ軍隊備トシテ控置セラルル様様ナリ

(14) 其後第百二師團ハ舟艇被射ヲ以テセテ經由ハロシホニ上陸

セルモ其者シク進出テ十月十日トナリ遂ニ主作戦ニ合ハズ即

ニ師團司令部ハ其出不能トナレリ

(15) 第六十八混成旅團ハ途中空襲ヲ受ケテ企圖表裏ノ正

ナキニ至リ十一月十日ハカンイントビニ上陸セルモ路ニト共在ナリ
 直ニ東進ノカキガシニ方面ニ進出シ企テタルニ山岡ノ主人道
 ニテノ望ミ空襲激シテ行軍ノ意ノ妙クナラズ。中途ニテノ総軍
 級退トナリコビリヤ山岡ニ至ルニ已クナキニ至ル

(16) 青島支隊ハ第六十八獨立混成旅團ト同時ニ「ロンドン」ニ
 上陸セルモ情況今ノ同旅團ニ同じ

回南方戦線

(1) フトエテ平原ノ第六十師團主力ハ敵ノ圧倒的勢力カニ押
 カレ數日ニシテ西方ヲマテガ山方面ニ敗退ノ止ラナキニ至リテ
 心ニ能ク岡山東部ニ陣地ヲ巨嶺大嶺ノ支ヘテリ 軍司令
 部ニ派遣セル連絡將校ハ十餘日ニシテ漸ク「カール」ニ出

リツキ報を以て知悉セカ僅カニ千五百餘而モ半月ノ漢ノ白リ

飲ニシテ食ハズトノ事ニ軍司令部ハ花ノ急連ヲ第百ニ師團

小泉中隊ヲアガシテ経テ其出セシメ十一月下旬迄(?)ハ分

十古師團ヲ習熟ト到リ也(軍務課報告)

(2) 特殊機銃機ノ敵を以テ敵軍之ヲ逐次北上ノ疑ヲ持テハアリカ

小泉中隊ヲアガシテ其出後内モテハ敵ハ「アブダグ」バハイ道

ヲ経シメノカ、バハイ道ヨリ「アム」ト向ケテ出申ノ敵ノ小部

隊ヲ見ル

軍隊備トシテ控置シアリシ跡凡大隊ヲシテ急連「アム」トシテ

出シシノ一時自中南方海岸地ニ至リテ強敵ニ見テ

ハ敵ハ舟艇ヲ以テ逐次増援道ニ跡凡大隊ハ北方ニ逐進セリ

ルニシテ

東方出也

(3) 第十一師團司令部トモトモテ下リシマラハバン派遣隊長少佐各

大尉以下約九名(ハッセルベックニ後退ヲ命ゼラレテ土月中

旬頃着敵目前到着セシ防空隊(十三機銃銃隊)ヲ併セ指揮

シタルコトヲ爾南方效外ニ位置シ船組隊長光井隆軍大佐

ノ指揮ヲ受ケリ(電報ニ告)

(4) 土月十二日南方方面軍あり第十一師團主力ヲアルベラフブコウエニ方面

ノ勢ヲ利用セシメシトナシテ決マリアルベラフ方面ニ松任シララウシ

ニ方面ニ対シテ前進ヲ準備スルニ命ゼリ大隊ヲ以テ野原天海前西ノ敵ヲ撃破

(1) 和号作戦

(1) 敵沈黙トシテ我々ノ敵機ノ勢力ハ陰勢ノ一途ヲ辿リ我々援機

送付我々愈々困難ナリ 此ノコトヲ以テ右飛行場奪回ノ

為和号作戦ヲ實施スルニトナリ十一月二十七日ヨリ其

村勢ヲ移行ス

(2) 即軍司令部ハ、カクガウ方面ニ牽制ノ為ニ連續攻撃ヲ命

ジ高橋連然ノ為ニ今津副長及近少将ヲコソシニ以テ

軍司令部ハ、コソゴト山東林原第16師団方面ニ進出ス

(3) 第16師団主力又一ヶ大隊ヲコソバシニ進出ス

(4) 11月5日根骨嶺ニ徹シタル第16師団ハ、北飛

機空日ノ前日勇健ヲコソウシテ北飛行場ニ突入同飛行場

ヲ占領シタリ

11月5日高橋連然ハ、コソバシニ進出ス

陣下隊果ヲ奪ド、第16師団主力ノ突入ハ、コソバシニ成功

スルニ至ラリシモ、7日六浦至院附近ノ天幕ヲ高射砲等ノ破

壊ニ成功セリ

七. 艦隊敗退

(1) 敵のオルモック上陸

(1) 七日のオルモックに海軍直佐隊より敵艦艇四隻、ポロ島南方に

出現し、一報先を獲る

七日、敵艦隊は北へハジメド艦隊を率て之を攻撃せしむ

と撃沈し、戦果をアゲ

(2) オルモック防衛中、先鋒部隊は海軍部隊と共に力

戦敵閉塞せり

(3) 敵上陸隊は自衛隊より先鋒部隊はオルモック上

陸に陸軍部隊は直に先鋒部隊を砲撃し、砲撃を

(4) 伊東海軍少佐の指揮する海軍陸戦隊はオルモックに力

をこめて上陸せしむる戦況は今不明且陸軍トノ連

統が不詳、十日正午、今編支隊ト連続戦況を遂

時程ヲ速シ混亂ニ陥リテ甚極ニ我側ニ至ラズ

(b) 和号作戦ノ放棄

(1) 和号作戦ハ十三日午七時概不空飛行抑テ占領シタル敵
反撃漸ク熾烈ナリ此ハ我方ハ之ニ反シテ今日午後接續カ
而モ敵ヲオモツクニ上陸セルヲ以テ吾々中外我ヲ放棄シ
云々ナキニ至リ、僅カニ三日間占領シタルニ至ル

(2) 和号作戦部隊ハオモツクニ集結シテ命令セラル

(3) 軍司令部ハ十三日フアトシテ軍長閣下司令セラル
其他ニ述ベタルニ如ク其後當否消息ヲ断シテ至ル

(1) 総退却

(1) オルモック方面ノ戦況思ハシカラス。依テ今頃支隊ヲ同方
面ニ之留又「レンシヤ」飛行場ニ八日ヨリ逐次降下セシム
高千穂陸軍投隊ヲ加ヘテモ。土日ニ退却米軍ノ「オルモック」
ヲ突入トスリ

(2) 我軍ノ兵力「オルモック」ヲ断大各地ニおカシタルモ。其ノ如
ク「オグナ」以後「オルモック」北東ニハ決ニ據ルニトスリ

(3) 其後敵ハ「オルモック」ヲナカスナク直リ北進「リホンガ」ノ物邊
集積地ヲ襲ヒタリ
軍司令部ハ一時「リホンガ」附近「リホン」ニ退却シ「リホン」方
面ニ退却スルノ途ナク「リホン」ヲ連続シテ断リ

0660

0659

0525

0526

(5)

339B9
 編成. 木口等
 20-8-20 / 兵隊等
 (1361) Captain
 魚 19-11-1900
 一 部

其後軍司令官ノ命令ヲ相付傳ヘテ遂次各部隊
 4ヶ所ニ地区ニ集結ス

復
 員
 書

0660

6590

0525

0526

(5)

會社 信託 銀行 貯蓄 物
上 取 付 出 金 額 加 算 附 録 等
査 査 日 記 簿 等 類 似 文 書

大 塚 山 根 孝 雄

通 信 局 長
机 関

具
省

八 海軍部隊大奮戦記録

(1) クロロベンシ派遣部隊

「クラロベンシ」部隊の隊長は特務少尉又ハ兵曹長程度ニシテ
 中心トナヒテ見るナカリシモ、第九防空隊水田特曹少尉大イニ弁
 走シテ連続リトリク多ク、我陣防強ニ努カレシワアリ

派遣部隊編成セシ竹岩大尉隊長トシテ進出セルヲ以テ中心人物ヲ
 得タルニ敵上陸迄一月ニ滿ラセル為、南嶺ノ戦闘ニ相當若ク

シテレニト認ム

敵未攻ニ際シテ、三日間ノ大空爆ニテ陣地施設及ハ全ク潰滅

シ既ニ予ノ施シ作ナレ(電報ニシテ)

(2) 己方より「クラロベンシ」軍山陣地ニ據リ抵抗ヲ試ミ、且ニ雲

霞ノ如ク大敵ノ前ニハ一タマリエナク、特務少尉附近陸軍亦

潰滅セシ為、特務少尉司令官ハ、今自若ク受ムルコトガカミ

ニ向ヒテモ、師團司令部ハ既ニ松尾後ナリシヲ以テ川。沿ヒ
 ラテオレ山南方山地ニナリ、漸ク物資會合其ノ西翼ノ援護
 ニ任ジラレシ(三臺ニ行キ伊藤大尉ヲ導キ松尾ニ至ル)

③ 然レ敵又大勢ニテ攻撃シ来ルハ、大ニ大奮戦之努力ヲシテ松尾
 ノ已メテ事ニ至リ(今ニ至ルハ師團司令部ハカケルカノ所ナリ)ナレニ

ソレニ情退軍司令部ニ連絡其ノ命ニヨリ、艦隊隊光井
 陸軍方成ノ指揮下ニ入り、同中南方城外ニ在リ、其直前に到リ
 セル十三戦隊海軍防空隊ヲ併セ指揮ス。其ニ来者セシモノ
 約百右小銃九十挺(電報ニヨリ)

④ 限并主計中尉以下主計者若干名「ラテオレ山」附近ニ在リ、即チ
 離レシモノノ如ク、同山附近ニ在リ、急遽進出中ノ今據駐隊

ニ會合、同駐隊ニ同行中ノ、早急濃濃邊中佐ノ指示ニ後
 ヒ、今據駐隊ノ糧食方面ヲ担当ス、大ニ大奮闘中、限并主計中

射に戦死す隊ゲタリ (渡邊多謀報告)

(四) 十二月中旬敵ヲオモクニ上陸先井部隊ト共ニ大ニ勇力致セシ
モ總隊退ノ為先井部隊ト共ニヒリヤバ地区ニ転進セリ

當時ノ兵力約七十ト記述ス (書類報告ニ依リて長伊藤主計長等
當隊ニ在ル極力ノモトニ收容スヘクテモ其モ軍司令部

方針ニ依リテ健康作ノ者ヲ残シ軍司令部ノ方針ナリシヲ
以テ其佐ノイテニ残留セシメタリ

(昭和甲二十一年三月二十七日) 軍司令部ノ方針ニ依リテ
先ノ談話)

(一) 當隊主計長兼副長岡田主計長等ニ依リ

終戦後ノイテ收容ノ者ヲ於テ弟主計長等隊員其外兼中
士人ノ十者等ヲ以テ備ハ魚雷艇隊某下士等ナリ 我々ハ終

戦ニ既ニ承知シ居ルニモ此処五年住山ヲ出テヤン快心ナリ大前

連ハ先ニ降シテ日本再建ニ力カシテ其ニ度 我々ハ山ニ存シテ目下
 夫人ト統帥シテ者モアリ 食糧ハ耕外ニ見外 米軍ヨリ多ク中
 流ニモノノ約ハ割ヲ得テアリ 區區條約又然リ 武倉原等モ
~~其ノ事ハ其ノ如ク~~ 條約ニ依リテ確信シテアリ 米軍脱走
 者モ其ニ存リシト 別ニ兵力ハ聞キテ居ラス
 尚小生ヨリテ收容所ニ存クニ時當隊下ニ其間ニシテヨシト
 第三世ノ米軍方針ニ依リテ其ノ事ハ其ノ如クシテ日本軍ハ
 目下 山山中ニ存クニ其兵力約三千名ナリ 米軍ハ犯衆
 者米比軍等ト其ニ存クニ食糧ニ潤澤ナリ 先達ハ婦人
 将校ニ名ヲ拉致スリ 米軍ハ兵力ナク目下午ノ出ニ據ル
 事ナク 遂ニ成ニ心ヲ痛クナリシト

(四) オレモツク通信隊

十月二十五日揚陸用海軍舟艇隊ト共ニ進出セシレ電信機四機
 輕便電信機ニ名ハ最中ニ三日ハ舟艇隊中トシテ舟ニ裝備セ
 グ司令官部ト連絡シテリガ舟艇隊一時引揚ニ際シテ陸軍
 軍司令官部通信班ノ電信機外部トモカニヨリ揚陸海陸軍
 用通信班中ノ担当者ヨリ 部中品類用品消耗品ハ不足
 勝ニシテ 度々被電ヲ受ケルモ其部被電不時有核ノモノ
 ヲ斷流仰任務ヲ離リヨリ 波長ノ關係モリ 晝間狀態
 不良概ト夜間山根山電報ヲ處理シテ以テ其努力甚大ナリ
 然レ其能ク任務ヲ遂行シヨリシテ 全般外戦ニ寄リ典ニ處理
 獻ニシテ 殊熱ニ值ル (司令官部品消耗品等使ノ部中通信班
 送附セリ) 其後在要性ニ鑑ミテ 下士及一ヲ増援セリ

(二) 尚十月中旬海軍大尉山根原雄通信隊長トシテ有任同隊ノ勢

力更ニ増大シ軍司令部ノ威嚇當瀆措ク能ハナリシと歎ケリ
 不幸ニシテ十二月中旬頃探知防室壕上ニ直撃テ隊長
 其他数名致死電信機破壊遂ニ通信不能ニ陥リ
 然レ共其時既ニ軍通信ハ通信ヲ開始シテリ 差シテ支隊ヲ率
 サズ

(1) ~~ベ~~ベシヤ海軍省海軍調査隊

(1) 其間「ベシヤ」飛行機ハ兩機ニ在リ不射有場程後ニ止メテ
 該空隊ハ「タクロバン」ニ轉進 爾後台湾調査隊ヲシテ警備ニ任
 セシム

(2) 勤務良好ニシテ「レイ」ヲ戦術始後モ陸軍隊ノ有陸セシメノアリ

(一) 海軍陸戦隊

11 伊東少佐ノ指揮スル海軍陸戦隊(水陸兩團)於本年九月
 追砲三千數門ヲ兵力約五〇〇ノ未援ヲ知り當面ヲ上
 海海軍特別陸戦隊ノ勇戦ヲ徳ビ大ニ期待スル所ナリ
 12 同隊ハ十一月七日オレモツク西カ、イギリスニ上陸セルモ戦況

ニ報告アリ

戦敵陣中セルモ遂ニ玉碎スルニ至レリ
 其内一名ハ脱出セルモ一名ノ軍司令部ニ逃リツクテ南後行部
 ヲ告グレツクビリヤハ此處ニ至リ便ヲ待テテゴトニ渡リ當隊司令部
 ニ報告アリ

又 十月五日ニ入りテ高千穂空挺隊ノ降下スルアリ
 11 十月十日ノ下旬、カリガラ、オレモツク此處混戦状態トシムルニ及ビ
 フベシヤ、飛行場モ襲撃ヲ受ケテナリ此處偵隊約八十名ノ勇

(中) 艦船遭難者

地勢多々不明聖朝見^入る自豫想^今及^レ逆上陸^ニシテ固
 固^ハ敵^下味^方ノ身^ヲ不^明古^有一時山中^ニ避^退合^敵ノ
 情況偵察中^ニ漸^ク陸^軍ノ攻^ヲ突^止大^ニ十二日隊長^ハ今^ノ陸
 支隊^ニ出^頭連絡^ヲ取^リシ^ニ既^ニ時^候疎^シク^シ總^隊退^ノ時
 候^ニアリ^テ逆^ニ戦^闘ヲ^行ハ^ス至^ル北^方ニ^退却^シハ^ロン^ホン^北
 方^地区^ニ至^リ十二月^ニ十二日^ハコン^ビサ^オ附近^ニ在^リ陸^軍司令^部
 一^指揮^下ニ^アリ^タリ (軍^勢ノ^滞波^退甲^佐談)

(1) 艦船^ノオ^モク^シ附近^ニ艦^船遭^難者^ハ陸^軍行^ノ泳^キ着^ク者^{アリ}

或^ハ陸^軍舟^艇ニ^救助^セラ^レル^ニア^リ 其^後概^シテ^ハ陸^軍野^戦
 病院^ニ収^容セ^ル

(2) 陸^軍一^部自^身ノ^力不^足新^戦況^不利^ノ情^況ニ^アリ

(1) 第十軍艦隊

第九軍艦隊

- (4) セブ島前當時一般に敵艦思想あり特、豫備士官中ハ部下ヲ見殺テ自己ノ助カシノ兆アリシトモアリシモ、着付クニ従ヒ再ビ戦闘ニ從事、別ニ異状ヲ認めズ
- (3) 然レ共軍艦隊維持トシテ、クルガ如シ(セブ島前電報者ノ言綜合)
- (2) 下級者ニ至リテハ、三三伍々ハロンポンニ方面ニ遊退(バンカールヲ徴飛シテ、セブ島波リ(軍艦隊消息)中伍報告)
- 戦闘不能ノ者以外ハ戦線ニ入り加サセテ、チチ布達アーンニ寄ル、水雷艦隊先任者、謀松原瀧三郎中佐ヲ始メトシ、徒ラ多クハ、戦便ヲ待テ、海軍部隊ノ指揮ヲシ、人當ラス

の土月上旬第...軍参謀長和知中將...師团长参謀長

園林大佐...軍参謀...カモツク...進出セルル...

一魚雷艇隊...一隻魚雷艇...多ク派遣ス

(2) 岩崎...敵艦...カモツク...海出波ノ微...

依テ司令...ハ出...際ニ往復...シ...

全ノ注意...

(3) 艦隊...同...出港...カモツク...浦島...

ルモツク...着...情途...更ニ...

来セシ...

(4) 掃...司令...ノ...係...同一...

ボソン...島...西側...左...後方...

ヨリ四五隻ノ敵魚雷艇ノ猛射...

隊ハ年ヲ先頭ニ概...

ハ砲戦ニ豹ノ魚雷艇ヲ避退セシムル為年般ヲ奪ヒタ
 ニ及船中魚雷艇ヲ四艘被シテ、支戦中一艇被擄陸上艦
 ニ移テ敵陣ノ高射砲俯伏シタリ 間ニテ約五艘ト推
 定スル、砲弾後部燃料ヲシテ命令中一沈没タリ
 乗員ハ、和旦島北山行ニ泳ギテ生カレ者軍参謀一乗員
 四艘名存ナリ (使ヲ得テ、セゴニ帰還報告)

敵ニ與ハタル損害詳細不明ニモ若干ノ命中彈ヲ認メタリ

(5) 魚雷艇ハ年般ノ及船中一艇ニ至リ、西ニ直進スルヨリ脱
 レタルニ年般ヲ見失フニ至ル未明ニ至リ、セゴ島東山行
 ニ達シ、南後安否ヲ気遣ヒ、セゴニ帰投タリ